

なくてはならない存在を目指して。

お客さま・地域にとって



C O N T E N T S

ごあいさつ

2 経営理念・基本方針

4 地域貢献・金庫の概要

6 地域密着型金融推進計画

10 地域貢献活動・事業サポート

12 トピックス

14 組織体制

16 組織・役員一覧

19 金庫の考え

20 主要な事業のご案内

22 沿革

23 店舗一覧

「資料編」のご案内

財務状況等のより詳細な情報については、
資料編を作成しております。「資料編」は
当金庫ホームページに掲載しております。



<https://www.shinkinbank.co.jp/about/disclose.html>

神戸信用金庫

本店 〒650-0035 神戸市中央区浪花町61番地
電話 (078) 391-8011

お客さま・地域にとって

なくてはならない存在を目指して。

ごあいさつ

平素は、格別のご支援とご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年も「2026神戸信用金庫の現況」を作成いたしましたのでご高覧いただき、当金庫へのご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。



昨年度の我が国の経済は総じて底堅く推移いたしましたが、トランプ関税や物価高等、さまざまな課題への対応、不透明な経済情勢や激しい市場環境の変化にさらされた1年であったといえます。また、市中金利は下半期にかけて上昇傾向が鮮明となり、金融機関にとってはビジネスチャンスとなる反面、金利上昇リスクについて再認識することを迫られました。

こうした中、当金庫は、非対面チャネルであるこうべネット支店および東の中核店舗として六甲支店を開設し、お客さまの利便性向上を図る態勢を整えました。金利上昇が続く中、優遇金利定期預金の取扱いやお取引先が持続的に成長していけるよう伴走支援を行い、税引後の当期利益は6億13百万円と増益を計上することができました。

自己資本比率につきましても、12.88%となり、国内で営業を行う金融機関に義務付けられている4%を大きく上回っています。

2026年度は、中期経営計画の2ヵ年目となりますが、実践にあたり3つの指針を定めました。第一の指針は「収益力の強化」です。お客さまと深く向き合い、質の高い提案を重ねて、収益に結びつけていきます。

第二の指針は「事務改善の徹底」です。業務負担の軽減とお客さまと接する時間の創出を図るため、今年度は今まで取り組んできた事務改善を一段と進めてまいります。

第三の指針は「人事評価制度の刷新」です。職員が高いエンゲージメントを持ち、いきいきと働くことができる金庫を目指します。

当金庫がこれからの時代を生き抜き、地域に貢献し続けるための経営基盤を固め直し、2年後の95周年、そしてその先の100周年へと繋いでいく重要な一年です。

今後ともお取引先の皆さまの一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げまして、ごあいさつといたします。

2026年7月

神戸信用金庫
理事長 西多 弘行